

「須恵町を明るく元気になりたい」 ボランティアの手で作られました

旅石区の福岡メディカルコミュニティモール須恵の壁に四季折々の絵が描かれ、道行く人たちを楽しませています。所有者の柳瀬雅彦さんから、須恵町の医療モールとして、地域の皆さんに明るい景観、風景を提供することで須恵町に貢献したいとの思いで壁画を描けないかと須恵町おやじの会に相談がありました。たくさんの人たちが協力して、壁画が制作されました。壁画作品には30年耐久する加工が施されており、長く皆さん楽しんでいただける壁画が完成しました。

猛暑の中の下地 白塗り作業



高い所もきれいに塗ります

足場の上での作業風景

作業中のこやじの会の皆さん



福岡メディカルコミュニティモール須恵 側面



福岡メディカルコミュニティモール須恵 正面



完成までの道のり

8月下旬
足場を
設置しました

8月28日(日)
壁画制作にあたり、今回の趣旨に賛同してくださった佐伯工業さん(上須恵区)が、足場の材料提供から設置、完成後の撤去まで全てボランティアでしてくださいました。いよいよ壁画制作の準備が整いました。

8月31日(水)～9月9日(金)
下地を白く
塗りました

須恵町おやじの会、須恵町商工会青年部など30人の皆さんが絵を描く前に下地を白く塗りました。猛暑の中での作業でしたが、須恵町おやじの会会員のお子さんたち(こやじの会)も参加して、和気あいあいと楽しく下地を塗りました。

絵を描きました

九州産業大学造形短期大学の黄禧晶教授指導のもと30人の学生が絵を描きました。テーマは「四季」、春は日本の桜、夏は青い池や白い砂浜、秋は森の中の紅葉や北国の湖、冬は雪景色の川やノスタルジアの幻想風景です。



絵を描く九州産業大学造形短期大学の皆さん